

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ぱんきっず		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日 ～ 2026年 1月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日 ～ 2025年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもが安心して過ごせる環境づくりを行っている。	こどもの障害特性に応じて複数の部屋を使い分けている。また、日々の状態に応じて、使用する部屋や活動内容を変更している。 こどもにわかりやすく、かつ見通しが持てるように、視覚的な支援(絵、写真、文字等等による提示。)を積極的に取り入れている。	支援者が変わっても同じ支援を提供できるように、支援手法やツールの標準化を図る。 また、ご家庭等でも活用できる内容については、ご家庭にフィードバックを行う、
2	経験年数や勤務年数が長い職員が多く、こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じて専門性のある支援が受けられる。	個別支援計画をベースに個々の障害特性について理解・共有を行い、個々に合った支援ツールを使用し経験豊富な職員が支援を行っている。 半期毎にアセスメントを行い、複数の職員の目でこどもの状態をチェックしている。	本人が望まない支援を押し付けることがないように、こどもの意見を拾い上げて、保護者とも共有しながら個別支援計画を策定して実施する。
3	こどもの事業所での様子やご家庭での様子を保護者と共有ができており、こどもの健康や発達状況について共通理解ができています。	その日の様子やご家庭での気になった事などを連絡帳や、送迎時に口頭でやり取りを行っている。	ご家庭での困りごとや相談、申し入れについては、いつでも適切に対応ができるように、関係機関との連携強化を高める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験年数が深い職員の高年齢化が進んでいる。職員が退社しても支援の質が低下しないように準備をしていく必要がある。	ここ数年、新規職員の入社が進んでいない。地域内の人手不足の影響だけでなく、仕事の内容や勤務時間帯にも課題があると考えている。	仕事の内容や勤務時間帯を細分化して、働きやすい職場環境整備を進める。 あわせて、支援手法や支援ツールの標準化を進めて、誰でも同じ支援が提供できるようにする。
2	家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備され、家族に対してそのような場があること、相談・申し入れの際には迅速かつ適切に対応していることが周知されていない。	通常の相談や申し入れではなく、苦情等についての体制整備や対応手順が周知されていないと考えている。 連絡先については、重要事項説明書等への記載や事業所内の掲示をしているが、苦情等が無ければ見逃されていると思われる。	苦情等についての体制整備だけでなく、緊急時の連絡先や手順等の情報を整理して、保護者が必要不可欠だと自宅に保管していただけるツールを作成して配布する。
3	アンケートにはない項目であるが、保護者の就労を優先した場合に開所時間が短いと考えている。（現状の開所時間は、平日は放課後から17時30分まで、学校休日は9時30分から17時まで）	開所時間を延ばすためには、職員数の増員が必要になるが、1で記載の通り、職員の採用が難しい状況が続いている。 また、開所時間を延ばしても得られる報酬が増えないことから、対応する職員の人件費相当が持ち出しになってしまうことも課題である。	要因解決が困難な状態であるので、すぐに開所時間を延ばすことは難しいと考えている。 現状、やむを得ない事情がある場合には個別対応を行っており、引き続き個別対応を行うことで理解を求める。